

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 19 年 5 月 17 日 (2007.5.17)

【公開番号】特開 2005-667 (P2005-667A)  
 【公開日】平成 17 年 1 月 6 日 (2005.1.6)  
 【年通号数】公開・登録公報 2005-001  
 【出願番号】特願 2004-174257 (P2004-174257)  
 【国際特許分類】

**A 4 7 L 15/42 (2006.01)**

**A 4 7 L 15/24 (2006.01)**

【F I】

A 4 7 L 15/42 R

A 4 7 L 15/24

【手続補正書】  
 【提出日】平成 19 年 3 月 22 日 (2007.3.22)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

ハウジングとリンスアームとを備えている物品洗浄機において：

前記ハウジングが、ハウジングを通過して延伸している物品搬送通路を含んでいて、物品は洗浄中に前記物品搬送通路に沿って移動するようになっており、前記物品搬送通路は少なくとも一つの洗浄区画及び少なくとも一つのリンス区画を通して延伸していて；

前記リンスアームは前記リンス区画に設置され、そして複数の流体振動ノズルを有しており、前記複数の流体振動ノズルは前記リンス区画に位置決めされ、そしてそれぞれのリンス液の振動流れを噴射するべく配置されていて、前記リンスアーム及び関連する流体振動ノズルは、リンス液が確実に前記搬送通路の幅全体をおおうように配置されている；

物品洗浄機。

【請求項 2】

前記リンス区画における各流体振動ノズルは、自身の噴射した振動流れが前記リンス区画における他の流体振動ノズルが噴射した振動流れと干渉しないように配向されている、請求項 1 に記載の物品洗浄機。

【請求項 3】

各流体振動ノズルは、噴射した液体の振動運動が前記リンスアームの長手軸からオフセットした角度で生じるように配向されている、請求項 1 に記載の物品洗浄機。

【請求項 4】

前記リンスアームの長手軸が前記搬送通路の搬送方向に対して直交して延伸している、請求項 3 に記載の物品洗浄機。

【請求項 5】

前記リンスアームが前記搬送通路の下方に設置されている、請求項 1 に記載の物品洗浄機。

【請求項 6】

前記リンスアームは第一のリンスアームであって、前記複数の流体振動ノズルは第一の複数の流体振動ノズルであり、物品洗浄機は、さらに前記リンス区画に第二のリンスアームを含んでいて、そしてそこに位置する第二の複数の流体振動ノズルを有しており、前記

第二のリンスアームは前記搬送通路の上方に設置されている、請求項 5 に記載の物品洗浄機。

【請求項 7】

各流体振動ノズルが本体部分と頭部とを含んでいて、前記本体部分各々は前記リンスアームにおけるそれぞれの開口部を貫通して差し込まれていて、前記頭部各々は前記それぞれの開口部の外部に位置し、そして前記それぞれの開口部を通過できないように寸法決めされている、請求項 1 に記載の物品洗浄機。

【請求項 8】

シール部材が前記頭部各々と前記リンスアームの隣接する表面部分との間に備えられている、請求項 7 に記載の物品洗浄機。